

## 研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

AF アブレーション症例における ATTR-CM スクリーニング：術前 CT-ECV とレッドフラグによる段階的アプローチの検討

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2024年6月1日から2025年6月1日に昭和医科大学病院において、心房細動に対するアブレーション予定で術前にCTを撮影した患者さん

### 2. 研究目的・方法

心アミロイドーシスは進行性の心疾患であり、心不全や不整脈など多彩な臨床所見を呈します。心アミロイドーシスに対する治療は疾患修飾薬の使用が可能となり、早期に診断をして治療介入することが重要となっています。心アミロイドーシスの診断には、生検による病理学的確定診断、もしくは核医学検査による非侵襲的診断により確定することが前提となります。特に核医学検査による非侵襲的診断は検査の中核として位置づけられている。一方、検査枠や検査に必要性から心アミロイドーシスの確率が低い患者さんに対して当該検査を広範に適用することは現実的ではないです。近年、CTを用いたスクリーニング方法（ECV測定）も確立されており、当院においても追加検査することなく通常の流れで検査を行うことができます。そこで、CTを用いたECV測定に加え、心アミロイドーシスのリスクを組み合わせECV値とリスクを層別化して心アミロイドーシスを疑う患者さんの診断収率を検討することを目的とします。

### 3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028年3月31日まで

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

2024年6月1日から2025年6月1日に昭和医科大学病院において、心房細動に対するアブレーション予定で術前にCTを撮影した患者さんのデータを用います。使用するデータは年齢、性別、身長、体重、既往歴、CT-ECV値、血液データ、心電図所見、超音波所見を使用します。

### 5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

**6. 研究組織**

研究責任者 昭和医科大学病院 放射線技術部 平野高望

**7. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院 放射線技術部 氏名：平野高望

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-6426-3122